

おうちの方へ 裏面もご覧下さい。



令和3年6月4日

小坂小学校

保健室 藤本純子

No. 3

にこにこほけんだより

☆笑顔には、自分とまわりを元気にする力があります。毎日にこにこ笑顔で過ごせますように！

学校生活が、少しずつ通常に戻りはじめました。でも、心も体も疲れの出やすい時期です。疲れたなとも思ったら、早めに寝たり、好きな音楽を聞いたりして、気持ちと体をゆったりさせる時間を作りましょう。

歯ブラシのさまざまな部分でみがこう

6月4日
↓
6月10日

健康週間 歯と口の

かみ合わせの部分には…
は うら 歯の裏には…
は しにく 歯と歯肉のさかい目には…

けさき せんたい 毛先の全体をあてる！
「つま先」や「かかと」をあてる！
けさき 毛先をななめにあてる！

もうすぐプール開き

プール学習の前の準備はOK？

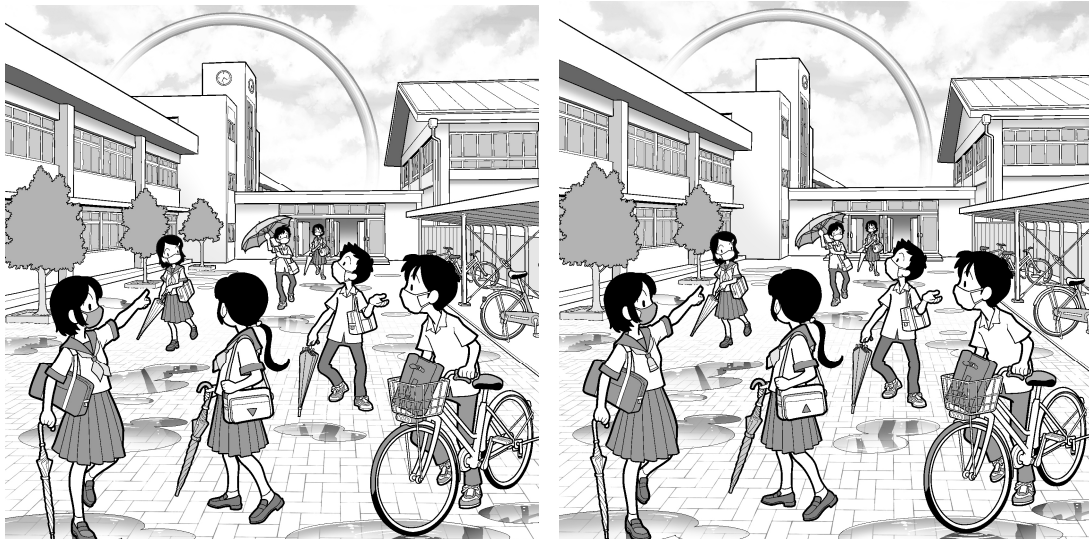
水分をこまめにとろう

マスクを^{せい}しての生活は、^{ねつ}熱がこもりやすく、^{ねつちゆうしやう}熱中症の心配が高まりますね。^{じゆうぶん}十分な水分がしっかりとれるように、^{すいとう}水筒を毎日持ってくる^{まいにち}といいですね。

雨の日は ぬれた足元に 注意しよう

脳の 7つのまちがいさがし 挑戦

★答えは保健室前の掲示板にあります★





保護者の方への保健だより

Health Smile

☆Health(健康)とSmile(笑顔)は、私が人生で最も大切にしたいと思っているものです。

心のケアから見えたこと

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休業により、自宅や、療養のために施設等で多くの時間を過ごした子どもたちのストレスを把握し、心の理解とケアをするため「心とからだのチェックリスト(Covid-19 サポートチームA作成：代表秋富慎司・富永良喜)」を実施しました。このリストは、コロナ知識、ストレス反応、日常生活行動の3つのカテゴリーに分けられており、自身の心身反応や効果的な対応を、答えながら冷静に見つめられるよう作られています。サポートライン(要支援)は5点以上でしたが、約3割が5点以上でした。その中からさらに必要と思われる子どもを対象にスクールカウンセラーに面談をしてもらいました。カウンセラーからは、今回の件をとおして、私たちにできることは「子どもが好きなこと、楽しめることをすること。今、何が起きているのか、自分の身を守るために何ができるのかを年齢に応じて話してあげること。家族にはスキンシップをしっかりとってもらって、安心感を与えること。不安や恐怖を抱くような内容のテレビなどは今の時期は控えて。」とのことでした。コロナ禍で子どもたちにはたくさんの我慢をさせています。さらに色々あれば、より不安を抱きやすい状況になることを理解した上で接していかなければならないと改めて思いました。いつもと違う様子はないか、何か不安に感じていないか等を注意深く観察し、こまめな声掛けをしながら全職員で見守りたいです。

コロナから「自分を守る、みんなを守る」

休校明けてすぐに、各担任と養護教諭とで「自分を守る、みんなを守る」という授業をしました。養護教諭からは、藤田医科大学感染症科作成の「コロナウイルスってなんだろう？2021年版」を活用し、新型コロナウイルスの特徴や「マスク、手洗い、くっつかない」等の予防法など確認しながら、なぜそれが必要かということ等を子どもたちに考えてもらいました。担任からは、「泣いた園長先生」という心温まるエピソードを題材に、新型コロナウイルスへの不安から思いやりを失ってはいけないこと、プラスの言葉を大切にできる生き方のできる人であってほしいこと等を学年の実態に合わせて話しました。子どもたちから、「嬉しくなった。」「ホッとした。」「自分が励ます人になりたい。」「コロナにかかった人が笑顔になれるようにしたい。」「みんなで乗り越えていきたい。」等の感想がありました。弱い人の立場に立った行動ができる人になってほしいです。



学習の足跡(児童玄関横掲示板)



学習の様子

おまけ フジモトのひとりごと 怒ることは の巻